

この様式は申請者が既に電気工事業の登録又は届出をしている場合に使用する。  
営業所の追加、主任電気工事士の変更時に使用する。

様式1 (通達記III 3. (2))

該当するものを○で囲む

### 主任電気工事士等実務経験証明書

(1) 登録申請者本人

下記1の電気工事士は、(2) 登録申請者の役員 であり、下記2のとおり電気工事に

(3) 登録申請者の従業員

従事していることに相違ありません。

年 月 日

大分県知事 殿

登録申請者

登録(届出)番号 ( )

記

1 電気 工事 士	電気工事士の氏名	認められる実務経験 一般用電気工作物の電気工事 又は 認定電気工事従事者認定証取得後の簡易電気工事 (500Kw未満の自家用電気工作物のうち600V 以下の電気工作物の電気工事	才
	生年月日・年齢		
	現住所		
	電気工事士免状の交付年月日		
	免状交付番号		
2 電気工事士が登録申請者の行う電気工事に従事した職歴			
所属名	期間	業務の内容	
大分営業所 工事課 担当	平成29年1月4日～ 令和3年1月4日  通算期間：4年	左記の期間、一般用電気工作物の新築及び改葬 工事に作業員として従事し、主に屋内配線工事 配線器具の取り付け等を行った。担当工事件数 約150件 (代表的な工事) ・XXXX 邸新築工事 ・YYY 公民館改修工事 ・ZZZ 邸リフォーム工事  自家用電気工作物 の場合契約電力を 記載すること	

(記載注意)

- この様式の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- この証明書は、被証明者1人につき作成すること。
- (1) 登録申請者本人、(2) 登録申請者の役員、(3) 登録申請者の従業員については、該当するものを○で囲むこと。
- 所属名は、○○営業所○○担当というごとく具体的に記入すること。
- 業務の内容は、○○用電気工作物の電気工事の施工業務、検査業務等を具体的に記入すること。  
なお、主任電気工事士の職歴のある者については、その旨を明記すること。

この様式は主任電気工事士が、他の電気工事業の登録又は届出業者に雇用されていた時の実務経験を証明する場合に使用する。

様式2 (通達記III 3. (2))

## 主任電気工事士等実務経験証明書

下記1の電気工事士は、下記2のとおり電気工事に従事していた者に相違ありません。

年 月 日

大分県知事 殿

証明者 住 所

氏名又は名称

法人にあつては代表者の氏名

印

登録(届出)番号( )  
記

1 電気 工事 士	電気工事士の氏名		認められる実務経験 一般用電気工作物の電気工事 又は 認定電気工事従事者認定証取得後の簡易電気工事 (500Kw未満の自家用電気工作物のうち600V 以下の電気工作物の電気工事
	生年月日・年齢		
	現住所	〒	
	電気工事士免状の交付年月日		
	免状交付番号		
2 電気工事に従事した職歴			
所属名		期間	業務の内容
大分営業所 工事課 担当		平成29年1月4日～ 令和3年1月4日  通算期間：4年	左記の期間、一般用電気工作物の新築及び改葬 工事に作業者として従事し、主に屋内配線工事 配線器具の取り付け等を行った。担当工事件数 約150件 (代表的な工事) ・XXXX 邸新築工事 ・YYY 公民館改修工事 ・ZZZ 邸リフォーム工事  自家用電気工作物 の場合契約電力を 記載すること
3 証明者の事業内容		電気工事業	

(記載注意)

- この様式の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 所属名は、〇〇営業所〇〇担当というごとく具体的に記入すること。
- 業務の内容は、〇〇用電気工作物の電気工事の施工業務、検査業務等を具体的に記入すること。  
なお、主任電気工事士の職歴のあるものについては、その旨を明記すること。